

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	年 月 日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 福山市曙町一丁目12番15号	氏名(法人にあっては、代表取締役の氏名) 株式会社エフビコ 代表取締役 小松安弘
環境マネジメントシステムの名称	エフビコエコアクション50 (FPEA-50) (旧:CO2マネジメント)
適用範囲	エフビコ及びエフビコグループ
導入年月日	2006/4/1
認証番号	自社独自マネジメント。第三者認証の取得なし
基本方針	【別紙にて記載】 CSRレポート2011 P23をご参照
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	【長期CO2削減目標】 エフビコグループのCO2排出量において ・排出総量を2020年度までに20%削減(2003年度比) ・排出原単位(販売枚数あたり)を、2020年度までに半減(2003年度比) 改正省エネ法において報告対象となっているエフビコグループの全拠点(工場、オフィス)からのCO2排出量および特定荷主の責任範囲の物流に伴うCO2排出量の合計
目標を達成するための取組の内容	【各部門2012年度までの目標】 品を対象としたライフサイクル全体のCO2「見える化実施」 ・生産製品の軽量化(2007年度比8%削減) ・生産プロセス改善により、生産量あたりエネルギー投入量の削減(2007年比12%削減) ・物流CO2の削減(2008年度比0.2%削減) 「見える化」の実現し、オフィスのCO2削減実施 ・低炭素型製品であるエコトレーの販売拡大 ・透明容器のリサイクル推進
目標を達成するための取組の進捗状況	・2003年度比 総排出量 19.3%の削減(2010年度実績) ・2003年度比 排出原単位 38.3%の削減(2010年度実績)
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・5.2%の容器軽量化実施(2010年度) 生産量当たり8.3%のエネルギー投入量の削減実施(2010年度) ・物流時のCO2 3.9%削減(2010年度) ・エコトレーの販売、汎用トレーの70%(2010年度) 各部門の目標に対して、2010年度は順調に推移した。長期目標の達成シナリオにのった推移であった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	生産活動における法令遵守については、「法的要求事項チェックリスト」及び「順守評価表」を作成し、各工場で評価を実施。各工場(亀岡工場も同様)とも法令遵守を確認している。特に問題はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	目標年に向けて2010年度実績は順調に推移した。企業合併による新規のグループ会社に対するマネジメントシステム参加についても今後進めていく。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。